

臨床研究グループリーダー養成コース

1. 対象

臨床経験5年以上の臨床医、臨床経験3年以上の看護師、薬剤師など
(定員制限:同時期1名まで)

2. 期間

80時間:曜日、時間帯など80時間の取り方に特に条件はない。月曜日から金曜日までの間で、講義、演習等、学生の希望の内容、時間の選択を行うことができる。

年度をまたいで受講することはできない。

原則、1日実習とする。コース開始時に担当教員と講習日程を相談のうえ、履修計画を提出すること。

3. 申し込み方法(詳細については募集要項を参照)

コース開始希望2か月前(医師以外は2週間前)までに申請してください。

- ①コース受講料(聴講料) 15,000円
- ②インテンシブコース(長期)申請書の提出

4. 一般教育目標

medical oncology(臨床腫瘍学)は、臓器横断的にがんの体系的な知識を基盤とする新しい分野である。分子マーカーによる薬剤選択を活用し、分子標的薬を用いた、各臓器がん横断的ながん薬物療法が進んでいる。

本コースは、インテンシブ80時間コースとして、専門臓器、診断法、治療法など研究の対象領域を限らずがんに関する多施設臨床研究のリーダーシップを発揮できる医療人養成を目標とする。がん治療の支持療法、併存疾患による臓器障害の高リスク患者に対するがん治療など、一般診療では新薬開発以外の非常に重要な研究課題は山積している。がん領域での臨床研究においても、質の高いエビデンスを保つには、しっかりとした試験デザインと仮説を検証しうるだけのサンプルサイズを確保しなければならない。臨床研究においてもがん専門センターと地域医療機関との役割分担は必要であり、地域医療機関の医療従事者が、多施設共同臨床研究の知識と実践を修得することは重要である。

5. 行動目標

- ① がん診療、がん薬物療法、臨床試験に関する基本的知識と臨床試験に主体的に係わる際の実行力を身につける。
- ② 多施設共同研究会などに出席し意見を述べる。

がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
インテンシブコース(長期)

6. 内容

1) 講義

No.	月日	時間	講義・演習	担当教員	実施場所
1	12.1(木)	18:30-20:00	がん薬物療法総論	関順彦 病院教授 (板橋・内科)	大学棟1階 105教室
2	12.2(金)	18:30-20:00	分子標的治療総論	衣斐寛倫 講師 (外部講師)	大学棟1階 105教室
3	12.5(月)	18:30-20:00	腫瘍免疫学と臨床試験	醍醐弥太郎 特任教授 (板橋・内科)	大学棟1階 105教室
4	12.6(火)	18:30-20:00	がん医療の倫理的考察と臨床試験	江口研二 客員教授 (板橋・内科)	大学棟1階 105教室
5	12.7(水)	18:30-20:00	がん薬物療法各論	渡邊清高 准教授 (板橋・内科)	大学棟1階 105教室
6	12.12(月)	18:30-20:00	臨床試験論文の読み方	横田勲 講師 (外部講師)	大学棟1階 105教室
7	12.13(火)	18:30-20:00	がん薬物療法の副作用とその対策	市川靖子 講師 (板橋・内科)	大学棟1階 105教室
8	12.14(水)	18:30-20:00	がん治療におけるチーム医療の役割 (血液がんを例に)	西森久和 講師 (外部講師)	大学棟1階 105教室
9	12.15(木)	18:30-20:00	臨床試験と生物統計	山口拓洋 講師 (外部講師)	大学棟1階 105教室
10	12.16(金)	18:30-20:00	日本における新規抗がん剤導入プロセス	永井純正 講師 (外部講師)	大学棟1階 105教室

※日時および実施場所は変更する場合があります。

2) 実習・演習

月曜日 午前 外来・病棟実習

午後1時30分から午後6時まで

ジャーナルクラブ(文献討議)

腫瘍内科病棟回診

担当症例治療カンファレンス

第1, 第4は、午後6時30分より各々肝胆膵、消化管がんボード

月1回 午後4時00分から骨転移がんボード

その他 月曜日(毎週)午後6時15分から乳腺がんボード

水曜日(月1回)午後6時30分から呼吸器がんボード

化学療法室・腫瘍外来研修 月一金(午前・午後)のうち選択可

なお、他のがんプロ養成コースの講義については随時選択聴講を可とするが、

担当事務局に事前連絡を必要とする。

7. 修了にあたって

講義・演習への出席、演習における報告発表、Discussion内容を評価して、がんプロ修了認定証が発行される。